

平成28年度

「言語聴覚の日」イベント報告



福井県

第10回言語聴覚展を開催して

福井県言語聴覚士会では言語聴覚士の啓発活動として、9月11日にラブリーパートナーLpalにて第10回言語聴覚展を開催しました。今年は、「言語聴覚士の仕事を体験しよう」をテーマに、お子様から、大人の方まで楽しく学べる4つの体験コーナーを用意しました。

- ①嚥下の体験 VF動画を用いて飲み込みの仕組みを学び、頸部聴診、食事介助の体験を行いました。
- ②聴力検査の体験 モスキート音の聞き取り、オーディオメータの操作体験を行いました。
- ③プリズム眼鏡の体験 半側空間無視の説明、プリズム眼鏡をかけての的あてゲームを行いました。
- ④検査・訓練の体験 高次脳機能検査など、机上で行える検査、訓練、脳トレの体験を行いました。

そのほかにも、賛助企業の商品展示コーナー、パネル展示コーナー、お悩み・進路相談コーナー、キッズコーナーなど、例年好評をいただいているブースを設けました。

会場は家族連れが多く、親子で楽しく体験している姿が見受けられました。1日を通しての参加者は250名と、多くの方に参加していただくことが出来ました。

福井県言語聴覚士会の主要イベントの1つとして開始された言語聴覚展も今年で10回を迎えることが出来ました。現在では100名以上の県士会会員にご協力いただき、会の準備、運営を行っています。県内の言語聴覚士の半数以上の方が啓発活動に関わってくれていることをありがたく感じると同時に、今後も、言語聴覚士という職業を少しでも多くの方に知っていただけるよう福井県言語聴覚士会が一丸となって啓発活動に取り組んでいく必要があると感じております。

